

令和6年度第2回セミナー
「SIP 連携企画:サーキュラーエコノミーシステムの最前線」

廃棄物資源循環学会

近年、サーキュラーエコノミー（CE）の概念は世界的に広まり、持続可能な社会の実現に向けた重要なアプローチとして注目を集めています。我が国においても、資源循環の促進や3Rの高度化、さらにはデジタル技術を活用した新たな資源管理手法の導入など、多様な取り組みが進展しています。廃棄物資源循環学会では、循環経済協調イニシアティブを設置し、学会学術委員会の元に各部会を緩やかに連携し、本テーマに係るセミナーや研修会を今後継続的に開催する予定です。

本セミナーでは、最新のCEの取り組みを俯瞰し、政策・産業・研究の各領域における最前線の事例を共有することで、今後の発展に向けた議論を深めます。SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）と連携し、プラスチック資源循環に関する実際の取り組み事例を通じて、循環型社会の構築に向けた課題や展望を共有します。CEの推進には、行政・企業・学界が連携し、サプライチェーン全体での協働が不可欠です。今後のCEの加速化策について、各プレイヤーがどのように貢献できるのかを一緒に考える場になることを期待しています。

皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

主催	一般社団法人廃棄物資源循環学会
共催	SIP「サーキュラーエコノミーシステムの構築」
日時	2025年5月16日(金) 13:15～17:00（受付は12:45より開始）
会場	AP虎ノ門（〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目6-1 5 NS虎ノ門ビル 3F I+J ルーム） ハイブリッド形式
定員	会場 50名 WEB(Zoom Webinars)500名（事前申込み制）
参加費(仮)	正会員・フェロー会員・シニア会員・市民会員：3,000円 賛助会員：5,000円、非会員：8,000円、公益会員・学生：無料
意見交換会 参加費	3,000円
参加申込	学会ホームページ（URL： https://jsmcwm.or.jp ）からお申込みください

【プログラム】(敬称略)

司会・進行 企画運営委員 (株)環境管理センター 長谷川 亮

13:15～13:20	開会の挨拶	廃棄物資源循環学会 理事 大迫 政浩
13:20～13:50	「SIPサーキュラーエコノミーシステムの構築～資源循環の拡大を促す動静脈・静動脈連携～」	京都大学 大学院工学研究科 都市環境工学専攻 教授 高岡 昌輝
13:50～14:20	「プラスチック資源循環の推進」	環境省 環境再生・資源循環局 総務課 容器包装・プラスチック資源循環室長 井上 雄祐
14:20～14:30	休憩	
14:30～14:50	「自治体回収プラスチックの分別・供給システムの確立」	アマタホールディングス株式会社 執行役員 宮原 伸朗
14:50～15:10	「ELV規則案対応実証実験の取組-当社SIP-CEの取組」	三井化学株式会社 グリーンケミカル事業推進室 室長付 特命担当 深田 利
15:10～15:30	「プラスチックリサイクルにおけるケミカルリサイクルの役割と課題」	株式会社神鋼環境ソリューション 技術開発センター 技術開発部 炭素循環室 早川 諒
15:30～15:50	「消費者等の意識・行動変容による資源循環の促進～万博も契機に～」	総合地球環境学研究所 教授 浅利 美鈴
15:50～16:00	休憩	
16:00～16:55	パネルディスカッション	東北大学 大学院環境科学研究科 先端環境創成学専攻 教授 吉岡 敏明
16:55～17:00	閉会の挨拶(調整中)	廃棄物資源循環学会 副会長 秩父 薫雅
17:05～18:00	意見交換会	

